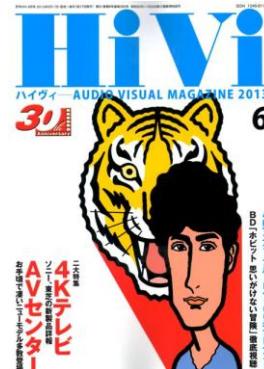


Review

HiVi

2013 June- JAPAN



<p>ON TRIAL</p> <p>USB DAC&HEADPHONE AMPLIFIER</p> <p>ADL X1</p> <p>¥41,790</p> <p>●接続端子：USB入力2系統（ミニB、タイプA）、アナログ音声入力1系統（ミニジャック）、ヘッドフォン/ライン出力2系統（ミニジャック） ●対応サンプリングレート：～192kHz/24ビット ●ヘッドフォン出力レベル：78mW（12Ω）、94mW（16Ω）、110mW（32Ω）、98.6mW（300Ω）、16mW（600Ω） ●寸法/質量：W68×H16.5×D118mm/約147g ●問合せ先：フルテック㈱ 03（5437）0281</p>	<p>HEADPHONE</p> <p>H118</p> <p>¥23,100</p> <p>●型式：密閉ダイナミック型 ●使用ユニット：40mmネオジウムマグネットドライバー ●インピーダンス：68Ω（1kHz） ●出力音圧レベル：98dB SPL/mW ●再生周波数帯域：20Hz～20kHz ●最大許容入力：200mW ●質量：約245g</p>
--	---



H118はスケール感良好でC/Pが高い X1は高解像度のサウンドが存分に楽しめた

— 小原由夫 —

PROFILE

ADLは、電源ケーブルやコネクター類で知られるフルテックの傍系ブランド。既にU.S.B-DAC等のヒットを作り出しているが、この度、密閉型ヘッドフォンとポータブル型ヘッドフォンアンプ／USB-DACをリリースした。

H118は、大型のイヤーカップが人目を引く。「アルファ・トリフォーム・イヤーカップ」と命名されたそれは、耳をすっぽりと覆うことで密着度を高め、タイトな空間を作り出してダイレクト感の強い音を目指した。

一方X1は、アップル製ポータブル機との48kHz/16ビットデジタル信号伝送が可能な「iDevice」規格に準拠。USBミニ-B端子との接続では、最大192kHz/24ビットのハイレゾ音源が再生可能だ。3.5mm光入力も備え、D/Dコンバーターとしても使用できる。

IMPRESSION

iPod touchで聴いたH118は、たっぷりとした低域のエネルギーを基礎に、高域に向かって音がきっちり積み上げられている印象だ。それがビーム状のエネルギーバランスを成しており、どんなジャンルの音楽でも不満なく楽しめる。また、頭頂部辺りにウォーク等のソロが定位して、ホーム用スピーカーに対峙して聴く時のようなステレオイメージが損なわれがちなヘッドフォン特有の音場感も、立体的な表現力に長けたH118では、違和感がほとんどなく、スケール感も充分。装着感、密閉度も実に良好で、コストパフォーマンスはかなり高いとみた。

X1はiPod touchとDevice接続し、オーディオテクニカATH-CK100OPROで聴いた。情報量が多く、解像感の高いサウンドだ。ボリュームのフィーリングも良好で、その軽量さとも相まって、使い勝手はとてもよい。バッパワーで動く手軽さの一方で、低域がやや軽い印象はあつたが、ハイレゾ音源らしい精細感が存分に味わえた。